

住民意見聴取（アンケート）集計結果

1. アンケート概要

《 配布対象 》

- ・ 宍道湖北西域流域内の自治会加入全世帯
- ・ 宍道湖北西域流域内の中学校（全2校）、高校（全1校）

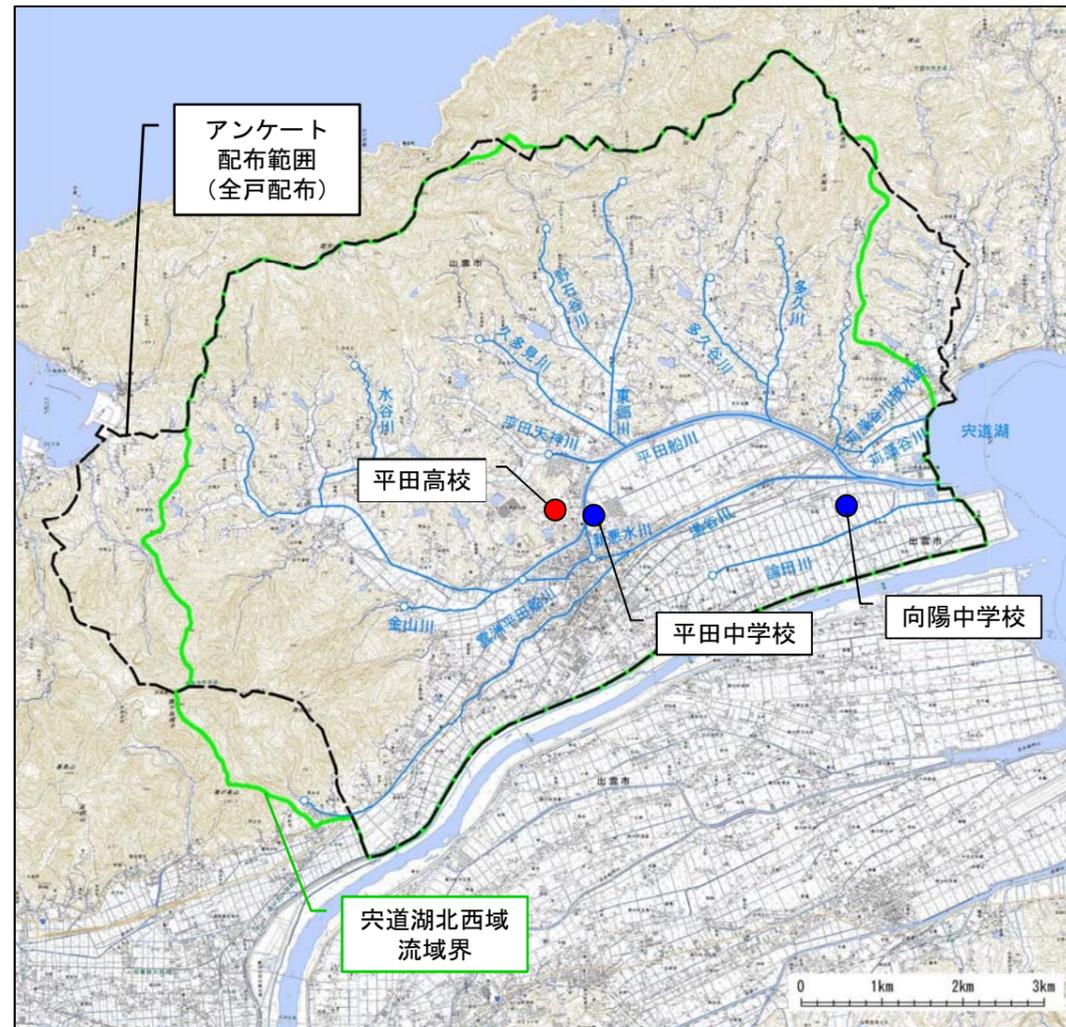


図-1 アンケート実施範囲

《 配布数・回収率 》

一般

配布数（世帯）	回収数（枚）	回収率
4,883	1,791	36.7 %

中学校・高校

学校名	回収数（枚）	回収率
平田高校（1～3年生）	476	
平田中学校（3年生）	203	
向陽中学校（3年生）	94	
合計	773	100 %

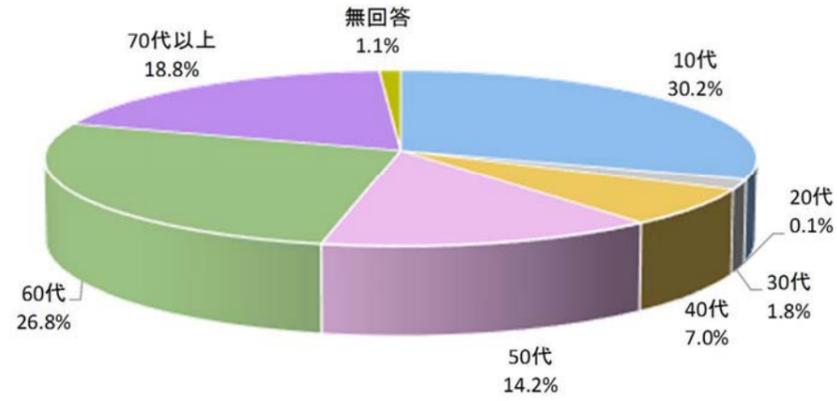
合計

区分	配布数（枚）	回収数（枚）	回収率
一般	4,883	1,791	
中高生	773	773	
合計	5,656	2,564	45.3 %

2. アンケート集計結果

Q1-2 年齢（中高生は10代に含む）

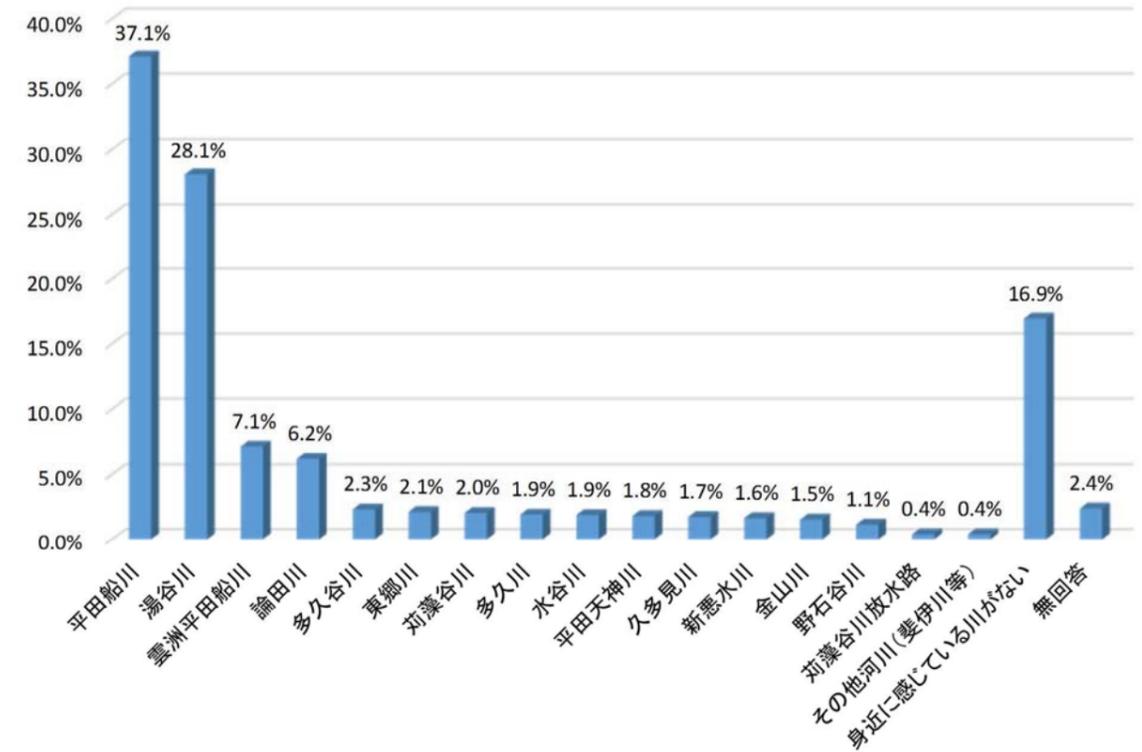
年齢	回答数（人）
10代	774
20代	2
30代	47
40代	179
50代	364
60代	688
70代以上	483
無回答	27
合計	2,564



Q2 「最も身近に感じている川」または「関心がある川」を選んでください

河川名	回答数（人）	河川名	回答数（人）
平田船川	951	平田天神川	46
湯谷川	720	久多見川	44
雲洲平田船川	183	新悪水川	42
論田川	159	金山川	39
多久谷川	59	野石谷川	29
東郷川	54	苧藻谷川放水路	10
苧藻谷川	52	その他河川（斐伊川等）	10
多久川	49	身近に感じている川がない	434
水谷川	48	無回答	64
		合計	2,993

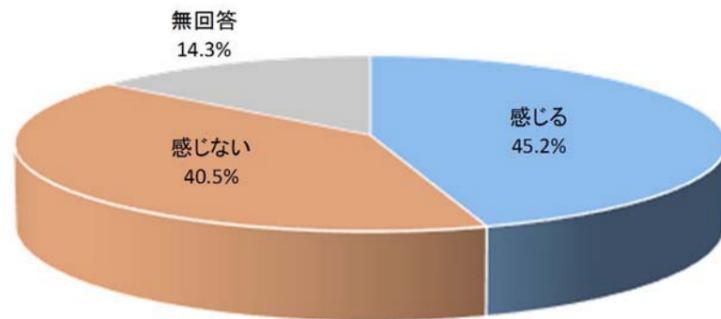
※複数回答あり



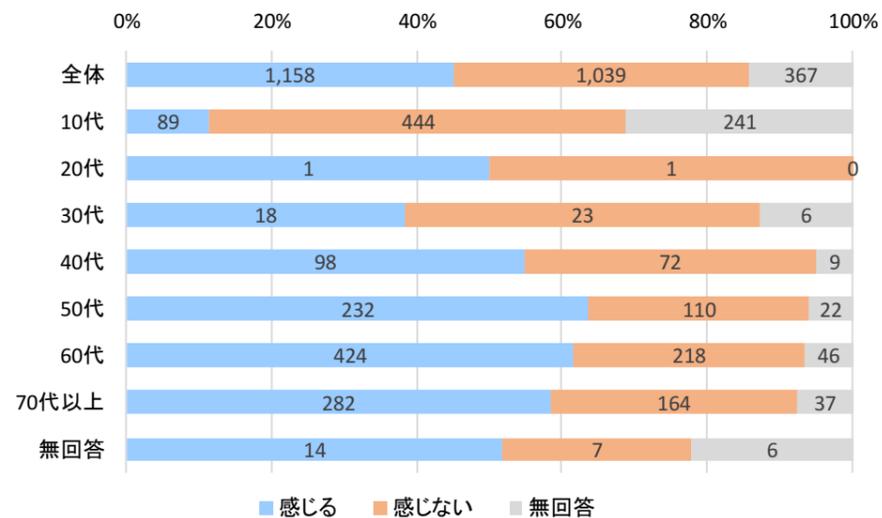
○ 治水対策に関する事項

Q3 Q2 で回答された川で、大雨の時に危険を感じることはありますか

選択肢	回答数（人）
感じる	1,158
感じない	1,039
無回答	367
合計	2,564

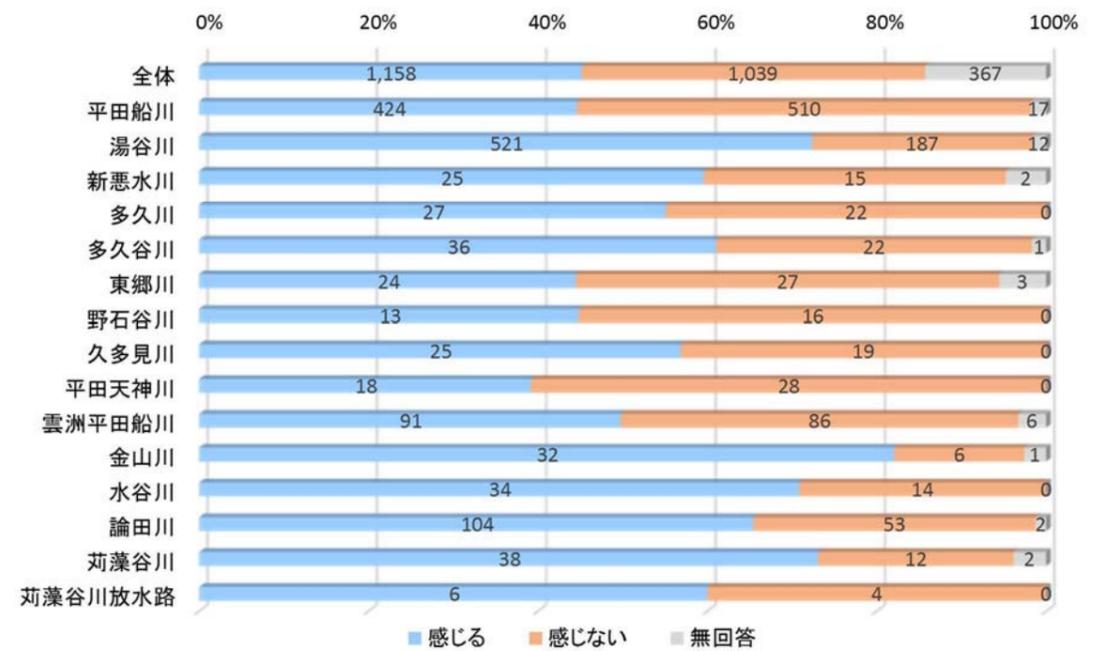


【年齢別】



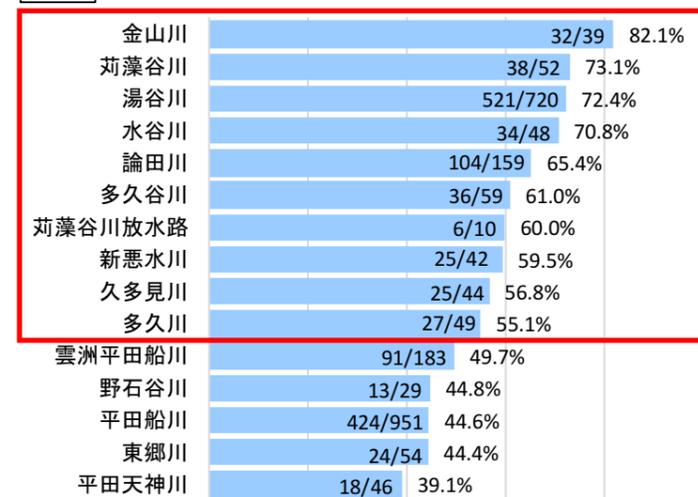
* グラフ内の数値は各意見の回答数

【河川別】



* グラフ内の数値は各意見の回答数

感じる



50%以上の10河川

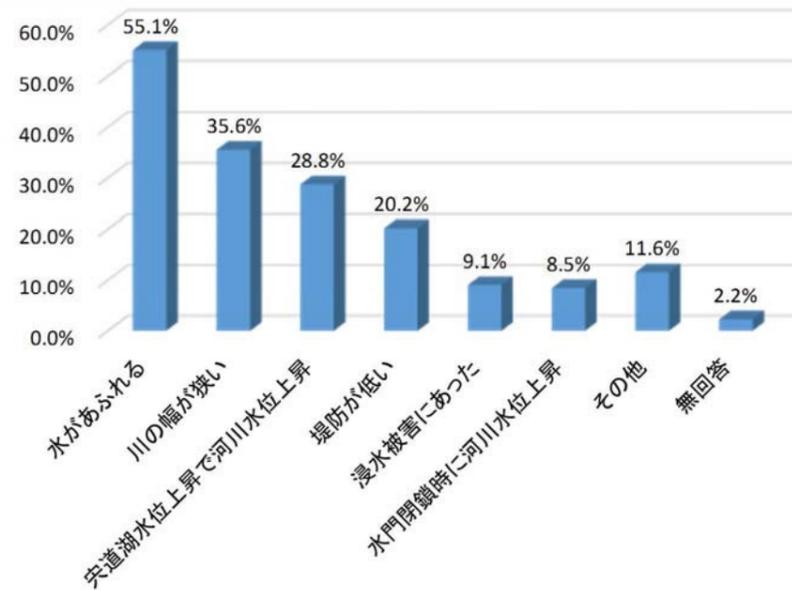
* 母数は Q2 の各河川回答数

【回答の傾向】

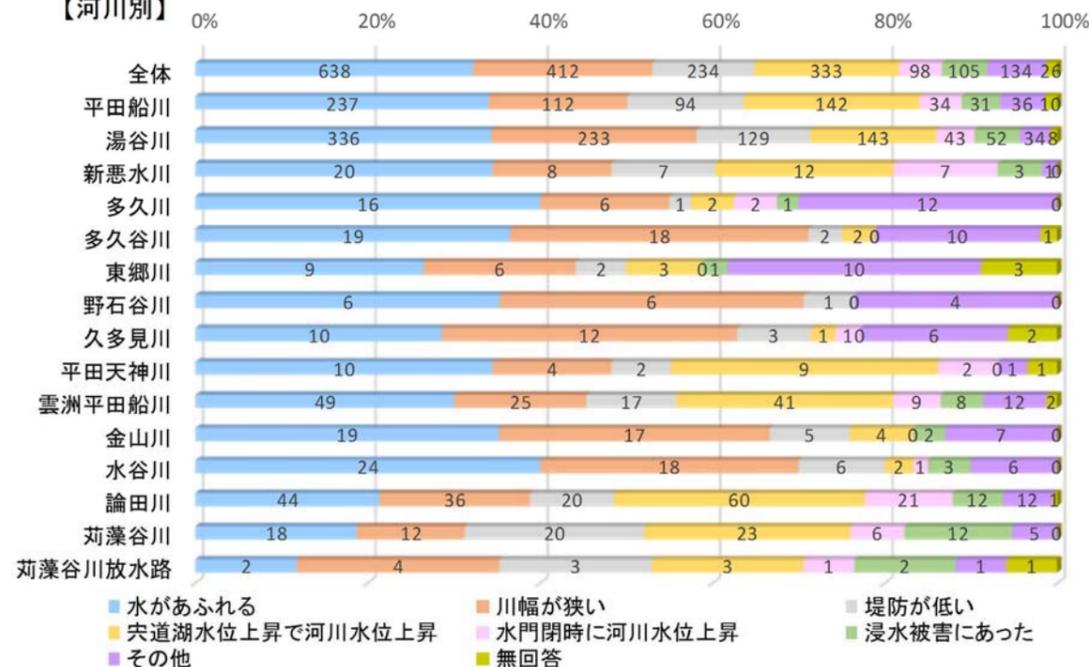
- ・ 全体では、危険を「感じる」の回答がやや多い。
- ・ 年齢別では、40代以上において危険を「感じる」割合が50%以上となる。
- ・ 一方、10代においては危険を「感じる」割合が10%程度で、「感じない」割合が50%以上である。
- ・ 河川別では、15河川中10河川で危険を「感じる」割合が50%以上である。

Q4 Q3で「感じる」を選んだ理由は次のうちどれですか【複数回答可】

選択肢	回答数 (人)
大雨の時に水があふれる	638
川の幅が狭い	412
宍道湖水位が上がった際、河川の水位が上がる	333
堤防が低い	234
過去に浸水被害にあった	105
水門を閉めた際、河川の水位が上がる	98
その他	134
無回答	26

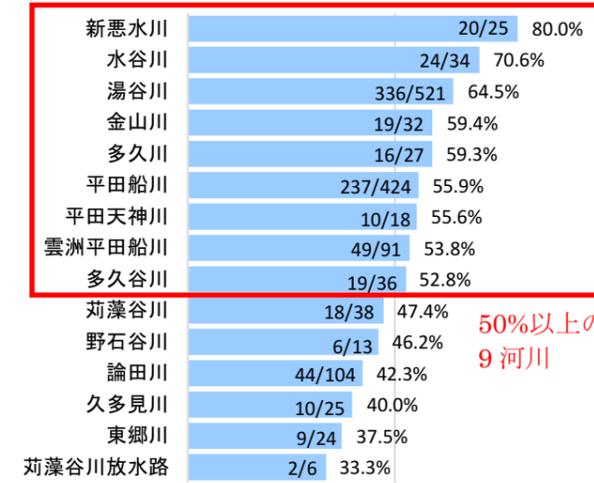


【河川別】

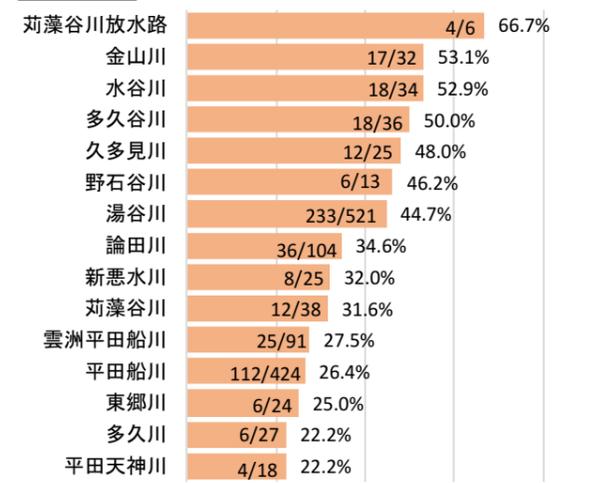


* グラフ内の数値は各意見の回答数

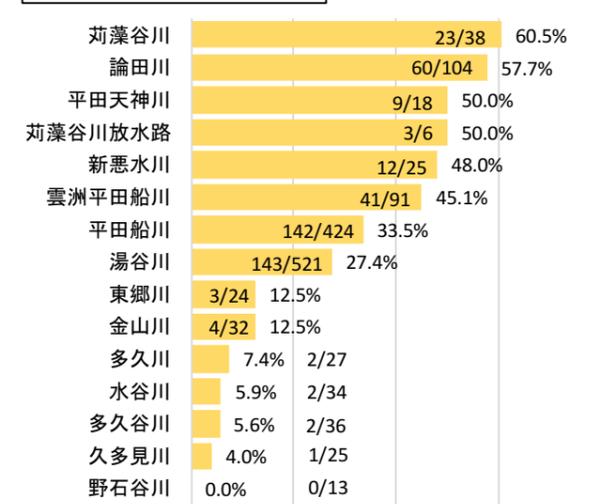
水があふれる



川幅が狭い



宍道湖水位上昇で河川水位上昇



* 母数は Q3 で危険と感じると回答した河川別の回答数

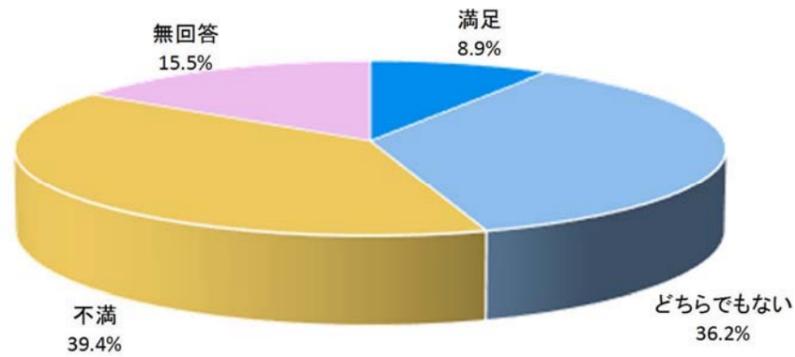
【回答の傾向】

- ・「水があふれる」の回答が 50%以上を占める。河川別で見ても 50%以上となる河川が 9 河川ある。
- ・「川幅が狭い」の回答は上流の河川で多く、「宍道湖水位上昇」の回答は下流の河川で多い。
- ・「過去に浸水被害にあった」は 9.1%であり、他の回答と比較すると低い割合となった。
- ・その他の理由として、河床に堆積した土砂や水草による流下阻害が多数挙げられている。

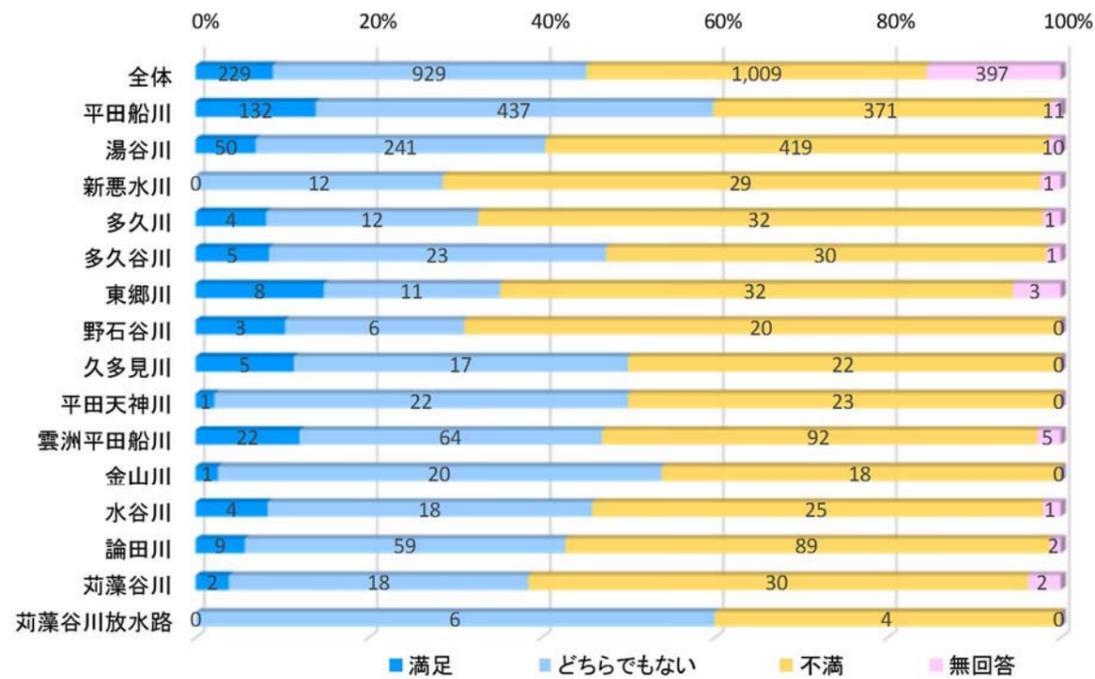
○ 河川環境に関する事項

Q5 Q2 で回答された川の環境に満足していますか

選択肢	回答数 (人)
満足	229
どちらでもない	929
不満	1,009
無回答	397
合計	2,564

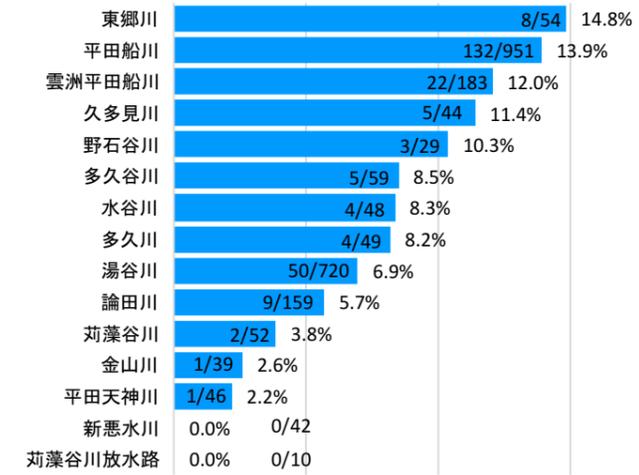


【河川別】

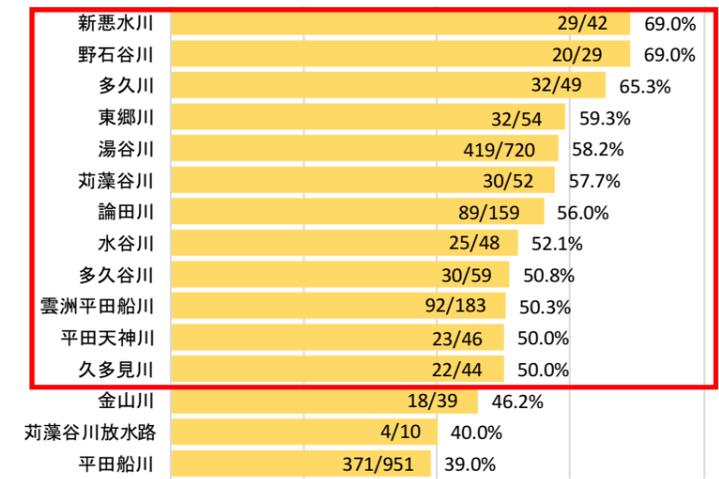


* グラフ内の数値は各意見の回答数

満足



不満



50%以上の12河川

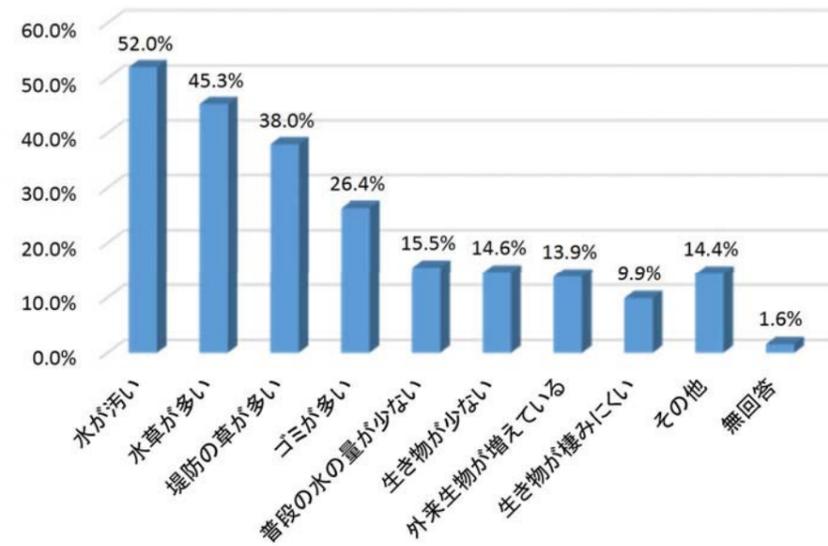
* 母数は Q2 の各河川回答数

【回答の傾向】

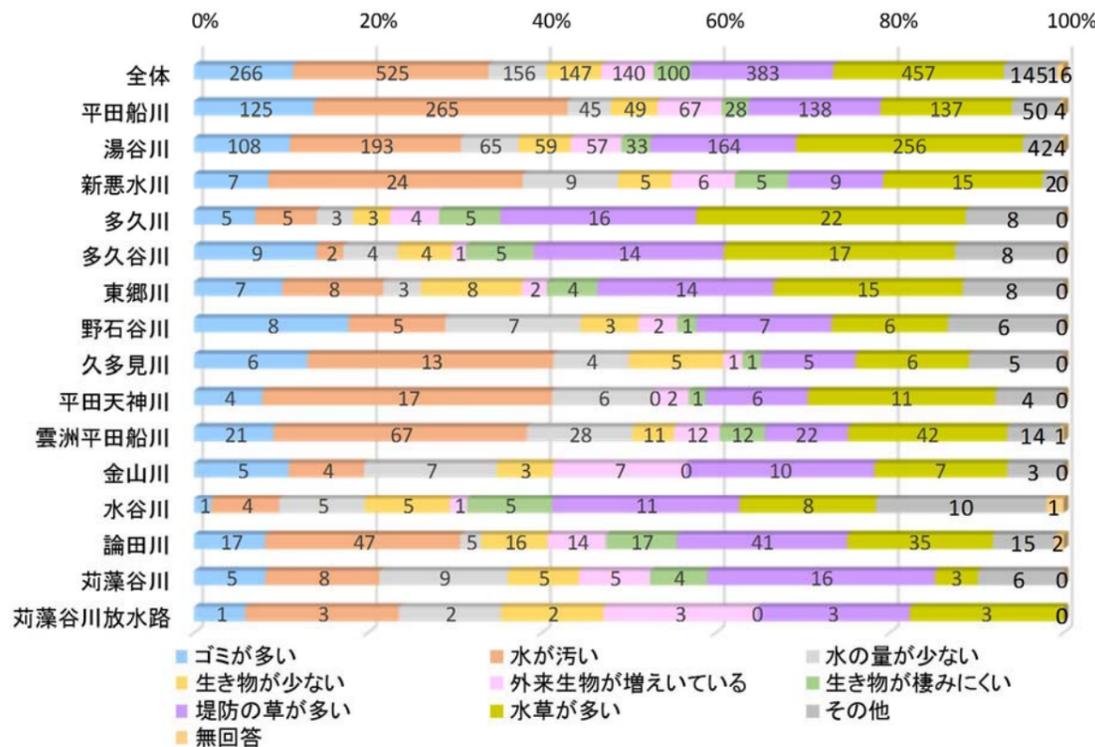
- ・ 全体では、川の環境に「満足」の回答が約 10%、「不満」の回答が約 40%であり、「不満」の割合が大幅に高い。
- ・ 河川別では、12 河川で「不満」が 50%以上を占める。

Q6 Q5で「不満」と回答された理由は次のうちどれですか【複数回答可】

選択肢	回答数(人)	選択肢	回答数(人)
水が汚い	525	生き物が少ない	147
水草が多い	457	外来生物が増えている	140
堤防の草が多い	383	生き物が棲みにくい	100
ゴミが多い	266	その他	145
普段の水の量が少ない	156	無回答	16



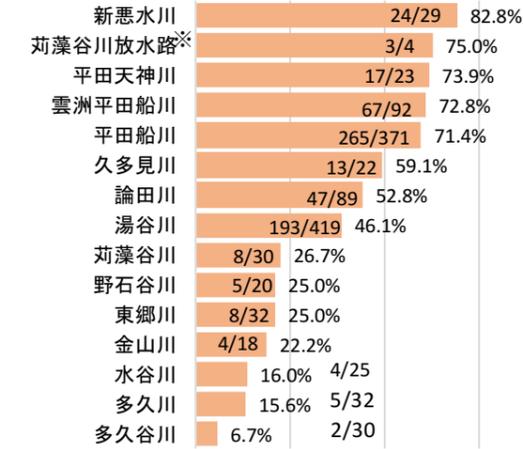
【河川別】



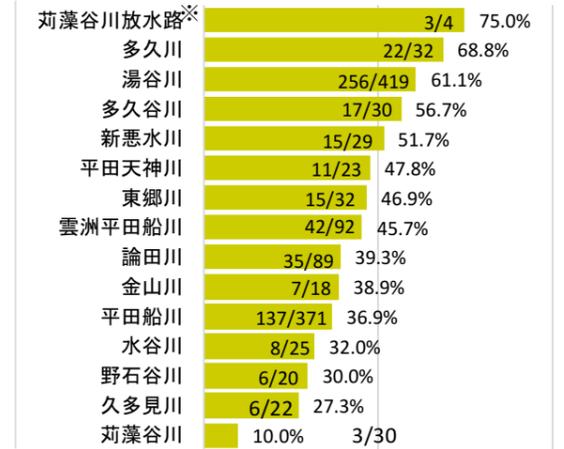
* グラフ内の数値は各意見の回答数

【河川別】

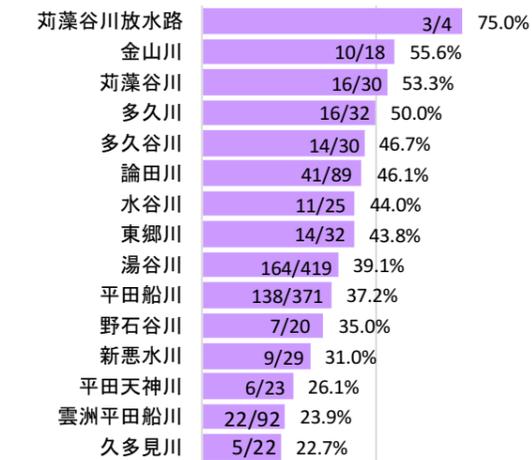
水が汚い



水草が多い



堤防の草が多い



* 母数は「不満」と回答した河川別の回答数

※苧藻谷川放水路は洪水時のみ流れるコンクリート三面張りの河川で、平常時は水が流れていない。そのため、洪水後に放水路にわずかに残った水や水草等が少量でも目立ち、「水が汚い」、「水草が多い」という意見が多くなったと考えられる。

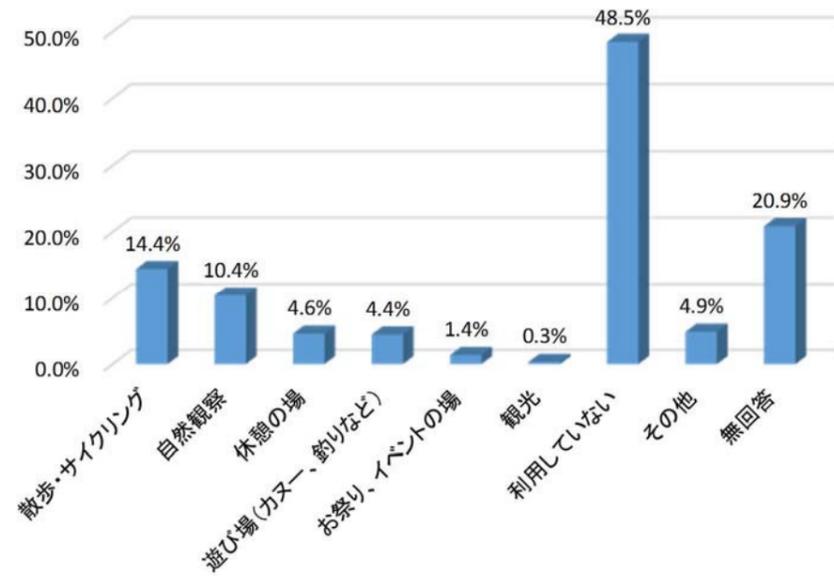
【回答の傾向】

- ・川の環境に不満である理由として「水が汚い」が全体で50%以上を占める。
- ・河川別では、「水が汚い」より「水草が多い」や「堤防の草が多い」の割合が高い河川も複数ある。

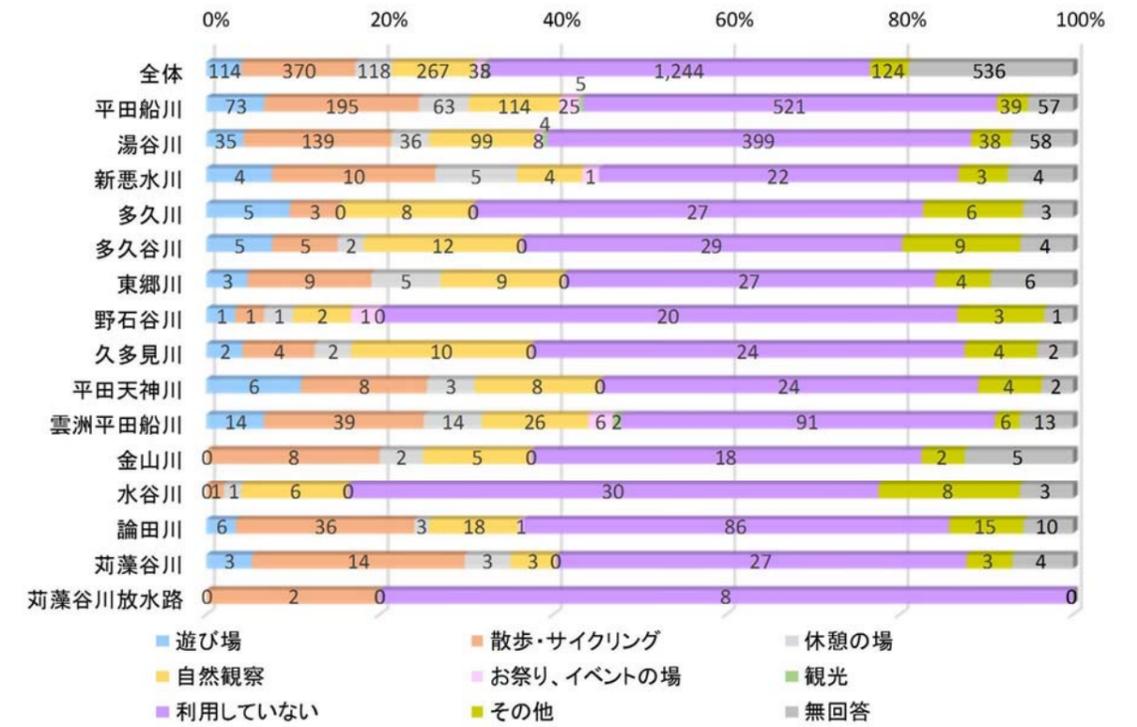
○ 河川利用に関する事項

Q9 Q2 で回答された川をどのように利用していますか【複数回答可】

選択肢	回答数 (人)
散歩・サイクリング	370
自然観察	267
休憩の場	118
遊び場 (カヌー、釣りなど)	114
お祭り、イベントの場	35
観光	8
利用していない	1,243
その他	125
無回答	536



【河川別】



* グラフ内の数値は各意見の回答数

利用している

多久谷川	26/59	44.1%
平田天神川	20/46	43.5%
雲洲平田船川	79/183	43.2%
金山川	16/39	41.0%
久多見川	18/44	40.9%
苅藻谷川	51/52	40.4%
論田川	63/159	39.6%
平田船川	373/951	39.2%
東郷川	21/54	38.9%
多久川	19/49	38.8%
新悪水川	16/42	38.1%
湯谷川	263/720	36.5%
水谷川	15/48	31.3%
野石谷川	8/29	27.6%
苅藻谷川放水路	2/10	20.0%

* 利用している回答数は、各河川選択数から「利用していない」と「無回答」の数を引いて算出

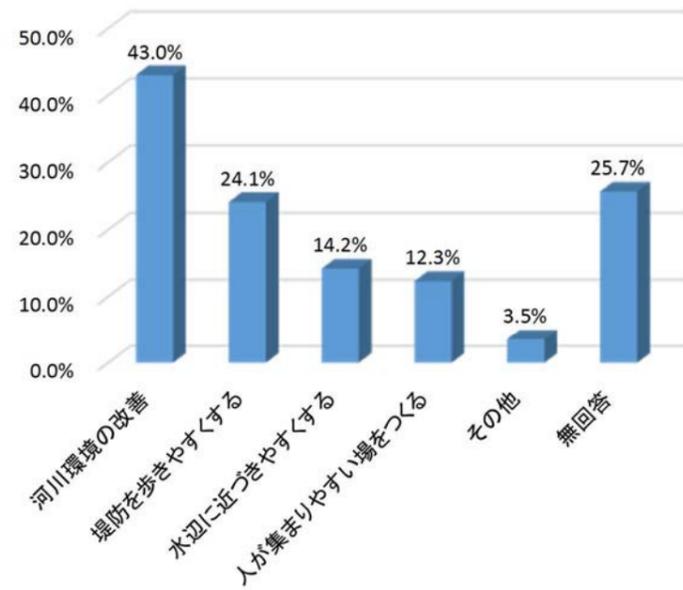
* 母数は Q2 の各河川回答数

【回答の傾向】

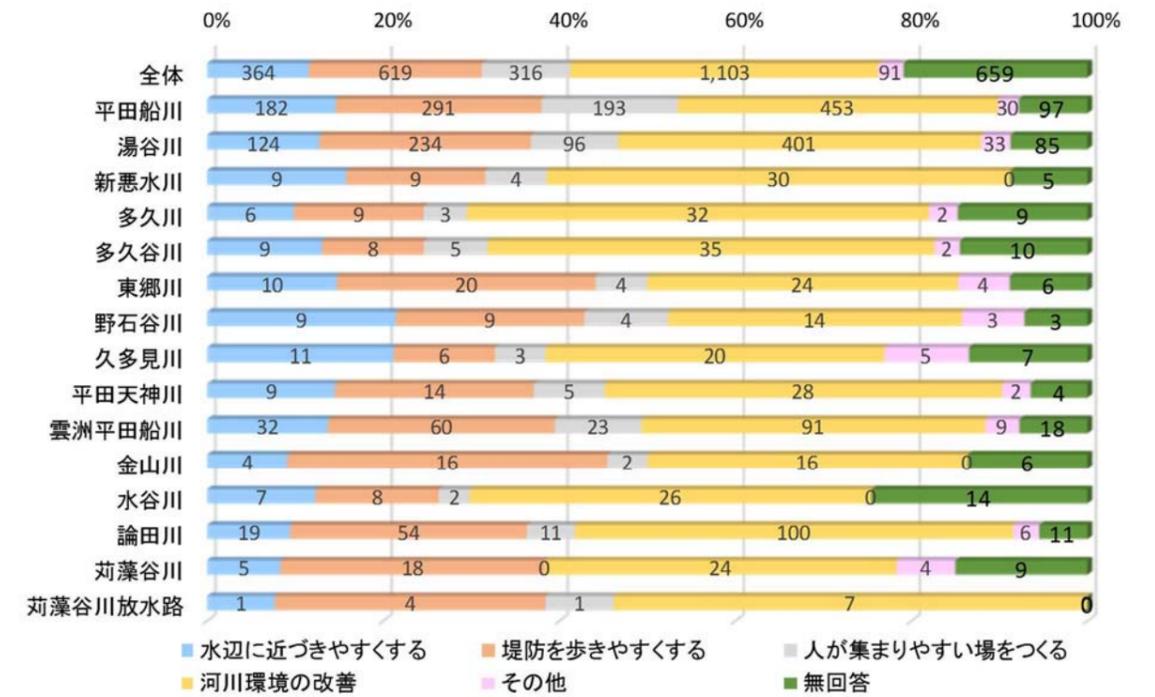
- ・ 川を「利用していない」の回答が約半数を占める。
- ・ 利用していることとして多い回答は、「散歩・サイクリング」と「自然観察」だが、どちらも 10% 程度である。
- ・ 河川毎で比較すると多久谷川、平田天神川、雲洲平田船川で利用者が多い。
- ・ 平田船川、湯谷川、雲洲平田船川では「観光」での利用もある。

Q10 Q2 で回答された川を利用しやすくするために必要だと思われるのは次のうちどれですか【複数回答可】

選択肢	回答数（人）
河川環境の改善	1,103
堤防を歩きやすくする	619
水辺に近づきやすくする	364
人が集まりやすい場をつくる	316
その他	91
無回答	659

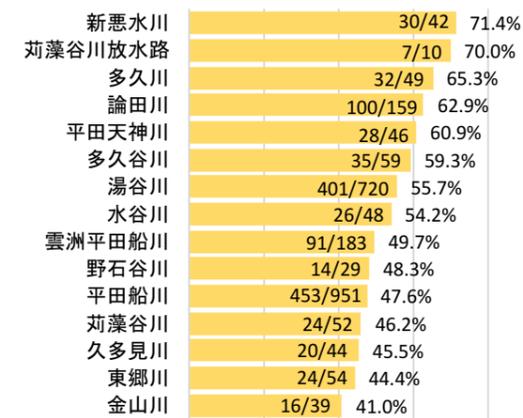


【河川別】

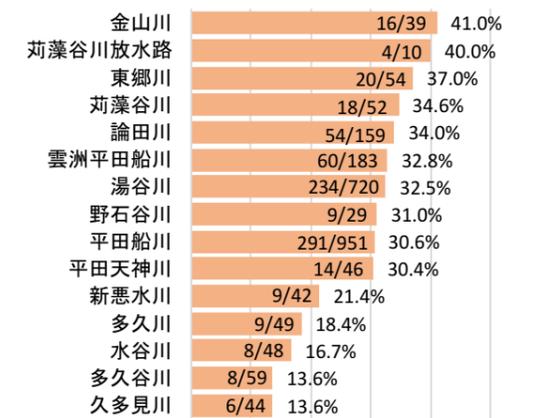


* グラフ内の数値は各意見の回答数

河川環境の改善



堤防を歩きやすくする



* 母数は Q2 の各河川回答数

【回答の傾向】

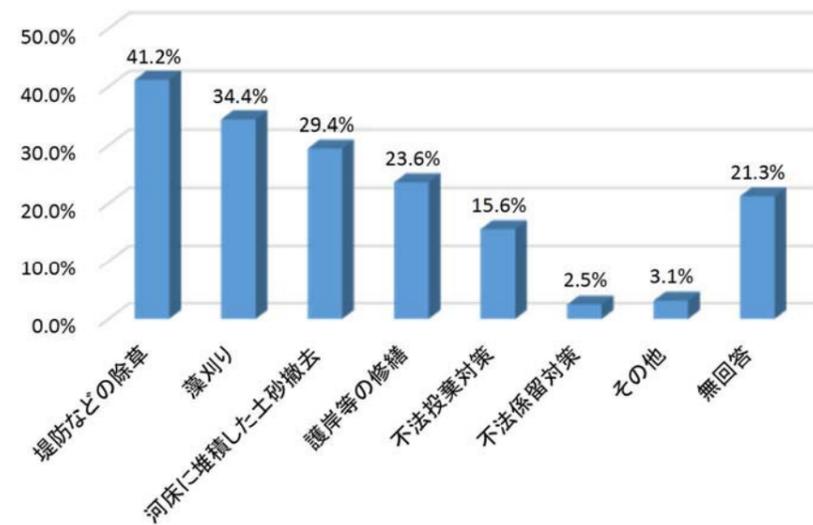
・川を利用しやすくするために必要なことは、「河川環境の改善」が最も多く約 40% を占める。

○ 維持管理に関する事項

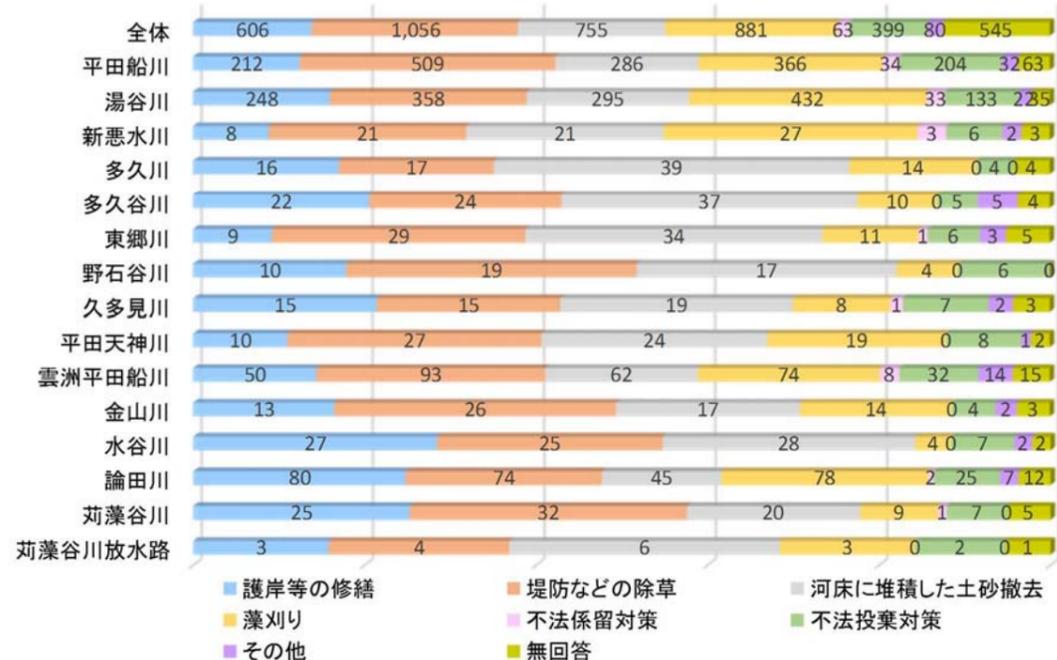
Q11 Q2 で回答された川の維持管理に関して必要だと思われるのは次のうちどれですか

【複数回答可】

選択肢	回答数 (人)
堤防などの除草	1,056
藻刈り	881
河床に堆積した土砂撤去	755
護岸等の修繕	606
不法投棄対策	399
不法係留対策	63
その他	80
無回答	545

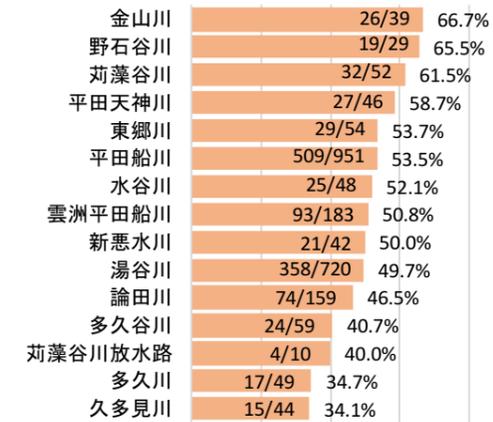


【河川別】 0% 20% 40% 60% 80% 100%

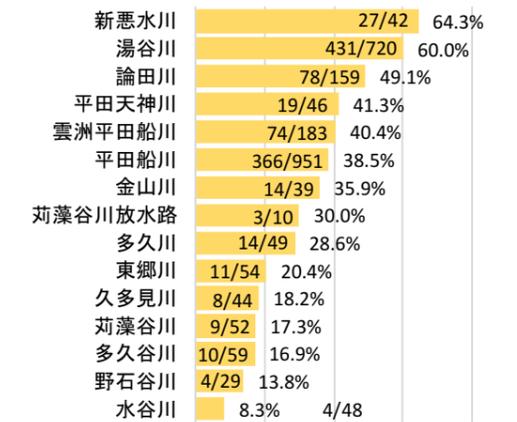


* グラフ内の数値は各意見の回答数

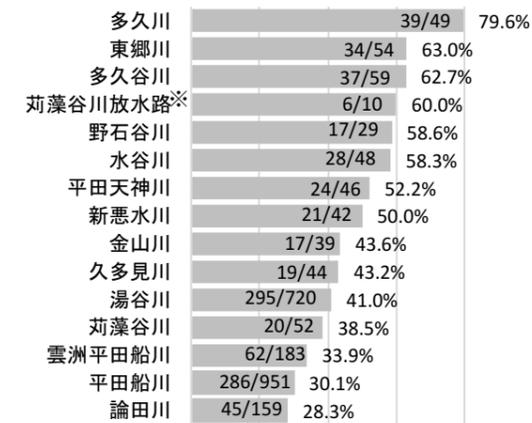
堤防などの除草



藻刈り



河床に堆積した土砂撤去



* 母数は Q2 の各河川回答数

※苧藻谷川放水路での土砂撤去に関する意見を受け、現地を確認したところ、その時点では土砂の堆積が見られなかった。しかしながら苧藻谷川との分流点付近では土砂の堆積が見られたので苧藻谷川に対しての意見であると考えられる。

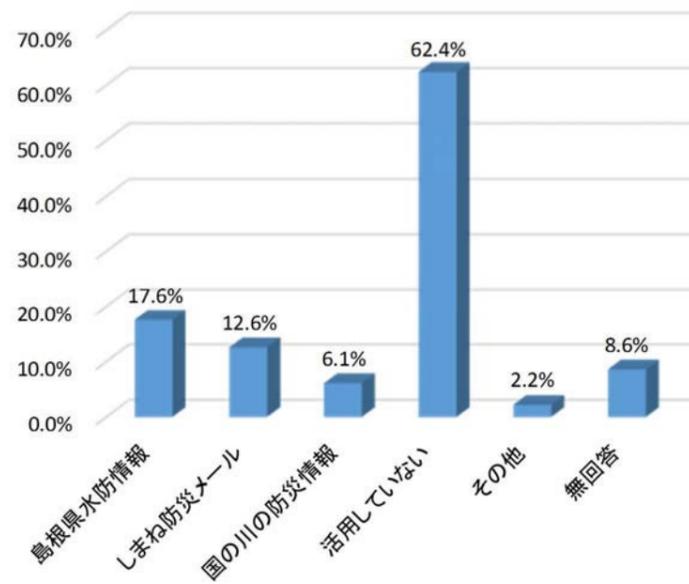
【回答の傾向】

・維持管理に必要なことは、「堤防などの除草」、「藻刈り」、「土砂撤去」の割合が多く、川の環境や利用にもつながることである。

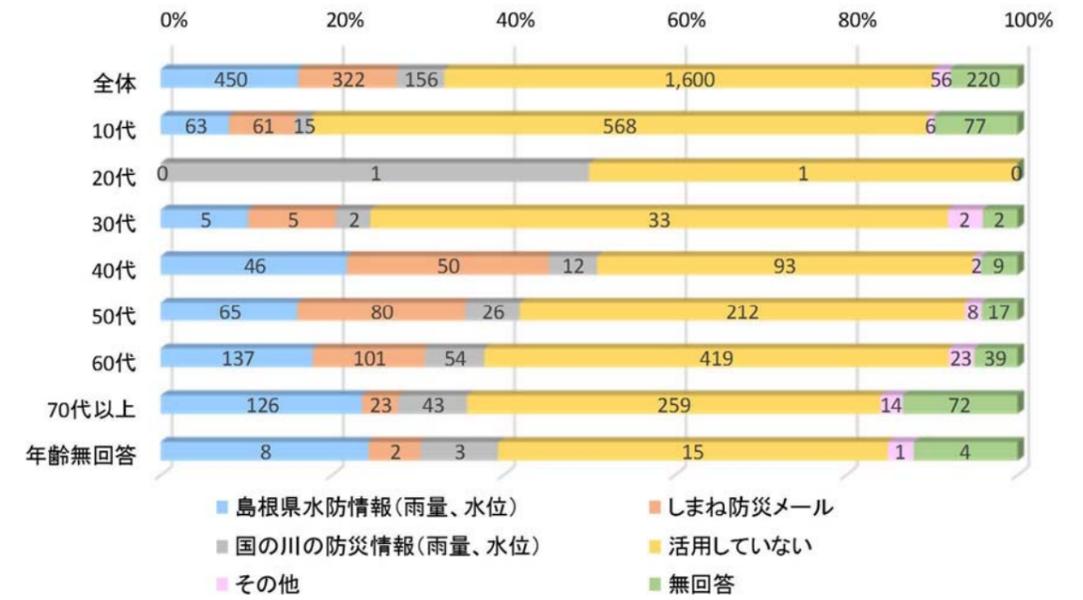
○ 河川情報の提供に関する事項

Q13 国や県は、リーフレットにあるように、インターネット等で防災情報を提供していますが、その情報を活用していますか【複数回答可】

選択肢	回答数（人）
島根県水防情報（雨量、水位）	450
しまね防災メール	322
国の川の防災情報（雨量、水位）	156
活用していない	1,600
その他	56
無回答	220



【年齢別】



* グラフ内の数値は各意見の回答数

【回答の傾向】

- ・ 全体では、防災情報を「活用していない」が60%以上を占める。
- ・ 年齢別では、40代・50代は「しまね防災メール」、60代・70代以上は「島根県水防情報」を活用している傾向がある。

3. アンケート結果総括

○治水に対する事項

「大雨の時に危険を感じる」人の割合は約半数と多いが、その理由では、「過去に浸水被害にあった」人の割合は少ないことから、河川改修を行わない河川においても「安心」感を感じてもらうことが重要と考える。

○河川環境に関する事項

川の環境に「不満」という回答が「満足」よりも約4倍と多い。その理由で最も多いのは「水が汚い」であるが、平田船川及び湯谷川の水質基準が概ね満足しているにも関わらず多いことから、水草が多い等の原因により「水が汚い」との印象を与えていると考えられる。雲洲平田船川も同様に「水が汚い」という意見が多い。

○河川利用に関する事項

利用者は約3割で、利用するために必要なこととして「河川環境の改善」という意見が最も多い。

利用者数は、市街地を流れる平田船川及び湯谷川が最も多いが、雲洲平田船川の利用者数や割合も比較的高い。

○その他

若年層は無回答が多く、高齢層のほうが関心が高い。

山間部で行った住民意見聴取と比較すると環境面での「水が汚い」、維持管理面での「藻刈り」の意見が多く、市街地の河川の特徴が表れている。